

平成30年7月豪雨災害からの早期復旧等に向けた緊急要望

近年、全国各地で集中豪雨や地震等が頻発し、甚大な山地災害が発生していることから、地域住民の安全で安心できる豊かな生活の実現に向けて、「緑の国土強靱化」の強力な推進が喫緊の課題となっています。

また、今般の平成30年7月豪雨は、西日本の広範囲において、これまで観測したことのない異常な降雨により、大規模な山腹崩壊等に伴う山地災害が多数発生するとともに、木材加工流通施設や特用林産振興施設等が大きな被害をうけるなど、住民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。

このため、治山事業をはじめとする林野公共事業等により、荒廃山地や被災した林道の速やかな復旧や今後の災害発生を予防し、林業・木材産業の早期の復旧を図るため、以下の対策を要望します。

- 1 今般の豪雨災害で生じた荒廃山地や被災林道等が早期に復旧されるよう、十分な財政措置を講じること
- 2 昨年の九州北部豪雨に引き続き、集中豪雨が頻発していることを踏まえ、集中豪雨による山地災害の事前防災・減災や災害に強い森づくりに向けた治山事業予算と森林整備事業予算を措置し、速やかに対策を開始すること
- 3 大規模な山腹崩壊等に伴う流木災害のリスクがこれまで以上に高まっていることから、昨年度林野庁が公表した「流木災害防止緊急治山対策プロジェクト」を加速化させるとともに、緊急に対策が必要とされた地区以外での流木対策にも取り組むこと
- 4 被災した木材加工流通施設、特用林産振興施設等の撤去・復旧・整備に対する支援に向け、十分な財政措置を講じること

平成30年7月23日

森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟